**地下街等**

**避難確保・浸水防止計画**

**（施設名称）**

**令和〇年〇月**

**１　計画の目的**

**(1)　計画の目的**

**この計画は、水防法第１５条の２第１項に基づく必要な措置に関する計画を作成し、○○地下街等（施設名）の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保及び浸水の防止を図ることを目的とします。**

 **(2)　計画の修正**

**この計画の修正は、軽微な事案については○○地下街等の関係者と協議のうえ決定するものとし、経費を必要とするなど重要な事項については、権限を有する者との協議のうえ決定します。**

**２　計画の対象範囲**

**(1) ○○地下街等の地下空間の範囲**

**○○地下街等を中心とした各接続ビルを包含した地域の範囲とします。**

**(2)　地下街等の状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **ビル名** | **出入口数** | **敷地面積(ｍ2)** | **用途** |
| **○○地下街等** | **※１** | **○○****※３** | **Ｂ１** | **×× ※４** | **※５** |
| **Ｂ２** | **△△ ※４** | **※５** |
| **接続ビル** | **△△ビル** | **※２** | **※３** |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**※１：地上に直接つながる出入口数**

**※２：○○地下街等と接続する△△ビルにつながる出入口数**

**※３：地下部分の延べ床面積(ｍ2)**

**※４：地下階ごとの床面積(ｍ2)**

**※５：地下階ごとの用途（例：店舗、遊技場、駐車場、駐輪場、機械室など）**

**３　計画の適用範囲**

**この計画は、○○地下街等に勤務又は利用する全てのものに適用します。**

**４　協議会設置**

**災害発生時の対応を取る体制について事前に協議するため、協議会を設置します。協議会の構成は次のとおりとします。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **テナント（店舗）名** | **担当者名** | **連絡先** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**５　防災体制**

**(1)　自衛水防組織の設置**

**ア　浸水危険時に、円滑かつ迅速な対応を図るため、別添１「自衛水防組織活動要領」に基づき、自衛水防組織を設置します。**

**イ　体制や各班の役割などについては、別添２「○○地下街等自衛水防組織図」のとおりとします。**

**(2)　自衛水防組織の活動内容**

**地下街等の利用者の円滑かつ迅速な避難及び地下街等への浸水を防止するため、平常時から危険度の段階に応じて対策をとります。**

**この際、接続ビルがある場合、連絡先の確認、重要な情報の伝達、避難及び浸水防止措置の実施などについて接続ビルとの連携に留意します。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **段　階** | **気象情報等** | **活　動　内　容** | **対応班等** |
| **平 常 時** |  | **避難確保・浸水防止計画、自衛水防組織、緊急連絡網などの更新** | **統括管理者****各班共通** |
| **資機材等の点検・整備** |
| **防災教育・訓練の企画・実施** |
| **注意体制(第１段階)** | **・大雨(洪水)注意報****・多摩川・鶴見川氾濫注意情報****・局地的な大雨****など** | **注意体制に移行することを各班等に連絡します。****連絡体制を確立します。** | **統括管理者本部運営班** |
| **洪水予報等の情報収集・伝達を行います。** | **情報収集班** |
| **浸水に備えた準備を行います。** | **警戒活動班** |
| **避難路や誘導先の確認等を行います。** | **避難誘導班** |
| **警戒体制(第２段階)** | **・【警戒レベル３】高齢者等避難****・大雨(洪水)警　報****・多摩川・鶴見川氾濫警戒情報など** | **警戒体制に移行することを各班等に連絡します。** | **統括管理者本部運営班** |
| **洪水予報等の情報収集・伝達を行います。** | **情報収集班** |
| **土のうや防水板の設置など、浸水に備えます。** | **警戒活動班** |
| **避難誘導の準備を行います。** | **避難誘導班** |
| **必要に応じて、利用者及び全従業員への発表情報等の周知を行います。** | **本部運営班** |
| **非常体制(第３段階)** | **・【警戒レベル４】避難指示****・大雨特別警報****・多摩川・鶴見川氾濫危険情報****・雨水出水特別警戒水位到達情報（警戒レベル４内水氾濫危険情報）****・浸水の前兆の確認など** | **非常体制へ移行することを各班等に連絡します。****避難誘導指示を各班に連絡します。** | **統括管理者****本部運営班** |
| **利用者及び全従業員へ発令内容、避難実施等の周知を行います。** | **本部運営班** |
| **洪水予報等の情報の収集・伝達を行います。** | **情報収集班** |
| **避難誘導を行います。** | **避難誘導班** |
| **避難完了後に避難経路の出入口に土のうや防水板等の設置を行います。** | **警戒活動班** |
| **避難誘導の開始や完了等について、所管する行政機関等に通報を行います。** | **本部運営班** |

**６　情報収集・伝達**

**(1)　情報収集体制**

**浸水の危険性把握のために、次により情報の収集を行います。**

**ア　収集する情報**

* **気象情報**
* **洪水予報**
* **避難に関する情報**

**イ　収集手段**

* **「メールニュースかわさき」に登録してメールで情報を収集する。**
* **ＦＡＸで情報を収集する。**
* **インターネットから情報を収集する。**
* **テレビ、ラジオ等から情報を収集する。**
* **防災行政無線で情報を収集する。**
* **地上部の状況等を目視で確認する。**

**(2)　情報伝達体制**

**浸水の危険性を感じたり、各種情報により浸水の予測があったときには、速やかに情報を伝達します。伝達の体制については、別添４「○○地下街等緊急連絡網」のとおりです。**

**また、地下で接続する他のビル等へも情報を伝え、共同して体制をとります。**

**７　浸水防止に関する警戒活動**

**地下街等への浸水を防止するため、危険度の段階に応じて対策をとります。**

**(1)　注意体制（第１段階）**

**浸水に備えた準備を行います。**

**ア 排水用資機材、防水用資機材、懐中電灯などの機能・数量等の確認を行います。**

**イ 地上に直接つながる出入口や換気口等、浸水のおそれのある箇所の巡回調査を行**

**います。**

**ウ　警戒体制（第２段階）の参集従業員の確認を行います。**

**エ　排水溝等の点検・清掃を行います。**

**オ　その他、浸水に備えた準備・確認を行います。**

 **(2)　警戒体制（第２段階）**

**土のうや防水板の設置など、浸水に供えます。**

**ア　警戒体制（第２段階）の活動に必要な警戒活動班員の非常参集を行います。**

**イ　統括管理者の浸水防止指示に基づき、避難経路として使用しない出入口に土のうや防水板等の設置を行います。**

**ウ　換気口等の浸水防止処置を行います。**

**エ　その他、水防活動の実施 などを行います。**

**オ　土のうや防水板等の設置場所は、別添５「○○地下街等避難経路図・防水資機材**

**設置図」のとおりです。**

**(3)　 非常体制（第３段階）**

**避難完了後に避難経路の出入口に土のうや防水板等の設置を行います。**

**８　避難誘導**

**(1)　避難誘導の原則**

**施設内に浸水が予想されたり、また、雨水等が流入してきた場合には、利用者の避難を最優先に行います。**

**(2)　避難時期**

**避難情報等が発令された場合、又は、統括管理者の判断により行います。**

**(3)　避難誘導時の行動**

**避難誘導時の行動については、次の点に注意して行います。**

**ア　館内放送などを使って、現在の浸水等の状況について利用者に説明するとともに、落ちついて避難するよう呼びかけます。**

**イ　エレベータやエスカレータなどの電気設備の利用を行わないように周知します。**

**ウ　あらかじめ決められた避難誘導班が、所定の位置につき、利用者を安全な方法で避難させます。**

**エ　高齢者、障害者などの災害時要援護者を見かけた場合は、周りの人達の協力を得ながら、迅速に避難誘導します。**

**(4)　 避難経路**

**避難経路並びに安全な避難先については、事前に検討しておきます。避難経路図を作成し、利用者の目に付きやすい場所に標示します。また、地下街等の従業員へも周知します。**

**なお、避難経路図については、別添５「○○地下街等避難経路図・防水資機材設置図」のとおりです。**

**(5)　 避難誘導方法及び留意事項**

**ア　利用者がパニックにならないように、避難誘導班をはじめ、各班員は落ち着いて行動します。**

**イ　浸水による停電が考えられるため、各ビルのエレベータは絶対に利用しません。また、利用しないように呼びかけます。（使用停止等）**

**ウ　一斉停電に備え、各店舗等には、平常時から懐中電灯等を用意しておきます。**

**(6)　 館内放送の内容**

**周知すべき内容の気象情報を入手した際や避難情報などの情報を入手した場合には、次のとおり館内放送等を利用して利用者に知らせます。**

**ア　気象情報入手の際の放送内容（例）**

**「こちらは、○○です。ただいま□□（情報の入手先）から、（気象に関する）△△注意報（警報）の発表がありました。ただちに◎◎してください。」**

**イ　避難情報入手の際の放送内容（例）**

**「こちらは、○○です。ただいま□□（「川崎市」等の情報の入手先）から、避難情報の発令がありました。従業員の指示に従い△△してください。」**

**９　防災教育**

**自衛水防組織の構成員及び計画対象区域内の施設の全従業員への防災教育を次のとおり行います。**

**(1)　防災教育計画**

**日頃からの防災に対する心構えや、いざという時の対応方法、また、災害時要援護者への配慮などを教育し、自主防災への積極的な取り組みを図ります。**

**(2)　防災教育及び研修の時期**

**ア　教育内容（教育対象者に応じて取捨選択）**

**・避難確保・浸水防止計画の内容の周知徹底**

**・浸水予防の周知徹底**

**・防災体制の周知徹底**

**・水害に関する事項の周知徹底**

**・その他、施設の防災管理上必要な事項**

**イ　教育実施時期**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **時　期** | **対象者** | **内　容** |
| **４月** | **自衛水防組織の新たな構成員** |  |
| **新採用・配置換えの従業員※** |  |
| **９月** | **全従業員※** |  |
| **随時** | **自衛水防組織の班別** |  |

**※本計画の対象となる地階にある店舗の従業員及び地階を利用する従業員が対象です。**

**10　防災訓練の実施**

　　**自衛水防組織の構成員及び計画対象区域内の施設の全従業員に対する防災訓練については、次のとおり行います。**

**(1)　防災訓練の計画**

**浸水などの被害を防止したり、実際の浸水時に素早い対応を図るため、従業員を参加させた訓練を行います。また、地下街等で接続する他のビルと共同で訓練を行うほか、各種団体等とも協力して開催します。**

**(2)　防災訓練の内容（訓練対象者に応じて取捨選択）**

**ア　動員訓練**

**緊急連絡網を通じて所定の場所に動員する訓練**

**イ　浸水防止訓練**

**排水用及び防水用資機材等の取り扱い及び設置に関する訓練**

**ウ　情報収集伝達訓練**

**情報の収集方法とその伝達についての訓練**

**エ　避難訓練と避難誘導訓練**

* **避難するために必要な資機材等の配備と避難体制に関する訓練**

**・ 避難誘導する際の災害時要援護者の避難誘導に関する訓練**

**オ　救出救護訓練**

**救出や救護に関する訓練**

 **(3)　訓練実施時期**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **時　期** | **対象者** | **内　容** |
| **全従業員訓練の前** | **自衛水防組織** |  |
| **５月** | **全従業員※** |  |
| **随時** | **自衛水防組織の班別** |  |

**※本計画の対象となる地階にある店舗の従業員及び地階を利用する従業員が対象です。**

**11　施設及び資機材の整備**

**施設及び資機材の整備等については、次のとおり行います。**

**(1)　浸水に備えるため、○○などの施設の整備を行います。**

**(2)　浸水に備えるため、土のう等の防水用資機材等を準備しておき、保管場所や使用方法について、従業員等に周知します。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **資機材名** | **仕　様** | **数　量** | **保管場所** | **設置／更新** |
| **排水ポンプ** | **250ｌ／分 100V** | **２** | **倉庫（Ｂ１Ｆ）** | **H10.3／H18.4** |
| **非常用発電機** | **2.0Kw 100V** | **１** | **倉庫（Ｂ１Ｆ）** | **H10.3／H18.4** |
| **水切りワイパー** |  | **８** | **倉庫（Ｂ１Ｆ）** | **H10.3／ －**  |
| **防（止）水板** | **アルミ製（h＝350）** | **２** | **倉庫** | **H10.3／ －**  |
| **土のう** | **吸水式** | **４０** | **倉庫** | **H10.3／ －** |
| **ブルーシート** | **3.6×3.6** | **８** | **倉庫** | **H10.3／ －** |
| **長靴** | **ゴム製** | **２０** | **倉庫** | **H10.3／ －** |
| **懐中電灯** |  | **１６** | **事務室** | **H10.3／ －** |
| **拡声器** |  | **４** | **事務室** | **H10.3／ －** |

**(3)　資機材は、常に使用できる状態に保つために定期的な点検や整備を行います。**

**別添１**

**○○地下街等自衛水防組織活動要領**

（自衛水防組織の編成）

第１条 管理権原者（防火・防災管理者が設置されている場合にあっては、当該防火・防災管理者を管理権原者とする。以下同じ。）は、洪水時において避難確保・浸水防止計画に基づく円滑かつ迅速な避難を確保するため、自衛水防組織を編成するものとする。

２ 自衛水防組織には、統括管理者を置く。

（１）統括管理者は、管理権原者の命を受け、自衛水防組織の機能が有効に発揮できるよう組織を統括する。

（２）統括管理者は、洪水時等における避難行動について、その指揮、命令、監督等一切の権限を有する。

３ 管理権原者は、統括管理者の代行者を定め、当該代行者に対し、統括管理者の任務を代行するために必要な指揮、命令、監督等の権限を付与する。

４ 自衛水防組織に、班を置く。

(１) 班は、本部運営班、情報収集班、警戒活動班及び避難誘導班とし、各班に班長を置く。

(２) 各班の役割は、別添２別紙に掲げる役割とする。

(３) △△施設（最低限、通信設備を有する場所とする）を自衛水防組織の活動拠点とし、本部運営班及び各班の班長を自衛水防組織の中核として配置する

（自衛水防組織の運用）

第２条 管理権原者は、従業員の勤務体制（シフト）も考慮した組織編成に努め、必要な人員の確保及び従業員に割り当てた任務の周知徹底を図るものとする。

２ 特に、休日・夜間も施設内に利用者が滞在する施設にあって、休日・夜間に在館する従業員等のみによっては十分な体制を確保することが難しい場合は、管理権原者は、近隣在住の従業員の非常参集も考慮して組織編成に努めるものとする。

３ 管理権原者は、災害等の応急活動のため緊急連絡網や従業員の非常参集計画を定めるものとする。

（自衛水防組織の装備）

第３条 管理権原者は、自衛水防組織に必要な装備品を整備するとともに、適正な維持管理に努めなければならない。

(１) 自衛水防組織の装備品は、別添２別紙のとおりとする。

(２) 自衛水防組織の装備品については、統括管理者が○○○○に保管し、必要な点検を行うとともに点検結果を記録保管し、常時使用できる状態で維持管理する。

（自衛水防組織の活動）

第４条 自衛水防組織の各班は、避難確保・浸水防止計画に基づき情報収集、浸水防止及び避難誘導等の活動を行うものとする。

**別添２**



**別添２　別紙**



**別添３**



**別添４**



**別添５**

**○○地下街等避難経路図・防水資機材設置図**

・避難先は×××××とする。

・避難経路は次のとおりとし、避難の際にはＡ、Ｃ、Ｄ階段を使用する。Ｂ、Ｅ、Ｆ、Ｇ、Ｈ階段は警戒体制の段階で防水板等を設置し、Ａ、Ｃ、

Ｄ階段については、避難完了後に防水板等を設置する。

防水板を設置

防水シートを設置

土のうを設置

※実線については、警戒体制の段階で設置する。

※破線については、避難完了後に設置する。

